

高岡ロータリークラブ

会長／牧野 明 幹事／坪田 伊歩

UNITE
FOR
GOOD

2025/10/2

No.13

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 安田 会場監督 点 鐘 牧野 会長
国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト
ゲスト

■富山県副知事 佐藤一絵様

■米山奨学生 マリク、アイシャさん

会長挨拶／報告

■誕生祝

坪田 伊歩さん（10/3・56才）

西村 博邦さん（10/5・70才）

北野 繁さん（10/7・65才）

■皆出席表彰

炭元 嘉雄さん（36年）

津嶋 春秋さん（35年）

荒井 毅さん（23年）

柳澤 剣治さん（11年）

杉林 政孝さん（7年）

■米山奨学生 アイシャさんに奨学金のお渡し…一言

幹事報告

■配布／卓上に米山記念奨学事業の豆辞典

■呉羽同好会ゴルフ

⇒10/4 呉羽カントリークラブ 12:18 スタート

委員会報告

■SAA…テーブルマスター選任のお願い

■雑誌委員会…ロータリーの友の紹介（竹田会員）

< ニコニコBOX 14件 41,000円 >

牧野会長／富山県副知事 佐藤一絵様、公務ご多忙の中
ご出席ありがとうございます。本日よろしくお願いします。

中野副会長／富山県副知事 佐藤さん、米山マリクアイ
シャさんをお迎えして。

坪田幹事／佐藤様、ようこそ高岡ロータリークラブへ。

お誕生日祝いをいただきありがとうございます。

木村君／佐藤副知事、本日はよろしくお願いします。

松原君／富山県副知事 佐藤一絵様、ようこそ高岡に！
日々激務の中、高岡にいつも温かいご指導賜り感謝
でございます。本日卓話楽しみです。

中川君／3日間出張して昨日夜、久しぶりに帰宅し
ました。疲れました。猫にも少しお前誰だ？顔をさ
れました。本日も多くのニコボックス、ありがとう
ございました。

竹中君／林忠正のクラファン 終了しました。200万
円の目標に対して108%の達成でした。ご支援いた
だいた皆様どうもありがとうございました。

四津谷君／今、瑞龍寺は昨年比1.4倍で拝観客が伸び
ています。インバウンドもありますが、若い方も増
えています。しかもリピーターが多いです。国宝に
なっても話題になるのは1年くらい。常に新しい話
題を提供しないとダメになります。今度また新しい
トピックが発表できそうです。こうご期待。

西村君／誕生日祝いをいただきありがとうございます。
た。

炭元君／皆出席表彰をいただきありがとうございます。

津嶋君／皆出席表彰、ありがとうございます。

荒井君／皆出席ありがとうございます。

柳澤君／皆出席表彰、ありがとうございます。

杉林君／皆出席祝いをいただき、ありがとうございます。
す。

〈呉羽同好会〉

優勝 室崎靖 55/51/106/33.1/72.9

2位 山口洋祐 38/40/78/4.7/73.3

3位 駒井宏 45/44/89/15.4/73.6

卓話

佐藤一絵様



「とやま 2035～10 年後、
そしてその先の富山県に期待すること～」

私自身のキャリアパスは偶然の連続でした。結婚を機に地方紙記者から出版社に転じ、その後たまたま見つけた農林水産省の経験者採用試験を経て官僚に。霞が関で 16 年間勤務後、2 代目として農林水産省出身の副知事に就任しましたが、これも新田知事が最初の選挙公約として掲げていた副知事の複数化という公約のおかげです。

富山県はほとんど未知の状態です。昨年 4 月に着任しました。立山の雄大さ、世帯所得や住居の広さに表れる経済的豊かさ、そして清潔な街並みなど、「暮らしの豊かさ」を実感しています。また、日本列島の地理的中心に位置する利点もあると言えます。

富山県民には「真面目で謙虚、控えめ」という美德の一方で、「保守的」な側面もあると思います。また「呉東・呉西問題」については、コンパクトな県でありながら政治・経済的には東西間の地域バランスが意識されている現状について、それが良い方向につながってほしいと願っています。

さて、現下の富山の最大課題は人口減少問題。県では「人材確保・活躍推進本部」を設置し、議論を進めています。その本部で講演いただいた日本総合研究所の藻谷浩介氏のデータによれば（参照 1）、地方が悲観する必要はないのです。2025 年から 2050 年の推計では、日本以上に他国が超高齢化する見込みであり、逆に、富山県は今後は高齢者の増加が緩やかになり、75 歳以上人口はむしろ減少に転じます。富山県はいち早く高齢化社会から抜け出すので、それをチャンスと捉えて多様な施策を考える必要があります。

年内に策定予定の新しい総合計画にも、そうした施策の方向性が盛り込まれる予定です。「幸せ人口 1000 万 ～ウェルビーイング先進地域」という基本理念は、100 万人の県民に加え、約 10 倍の関係人口も含め富山に関わる全ての人々が幸福を実感できる社会を目指すというものです。必要な施策については、「とやま 2035」として 10 年後のあるべき富山の姿を明らかにしたうえで（参照 2）、その実現に必要なものをバックキャストで考えているところです。新しい総合計画策定にあたり、全 15 市町村で開催された「未来共創セッション」では、一般公募で集まった県民がグループワークを通じて議論し、特に若い世代からも多くの前向きな意見がありました（参照 3）。

年内に策定予定の新しい総合計画にも、そうした施策の方向性が盛り込まれる予定です。「幸せ人口 1000 万 ～ウェルビーイング先進地域」という基本理念は、100 万人の県民に加え、約 10 倍の関係人口も含め富山に関わる全ての人々が幸福を実感できる社会を目指すというものです。必要な施策については、「とやま 2035」として 10 年後のあるべき富山

の姿を明らかにしたうえで（参照 2）、その実現に必要なものをバックキャストで考えているところです。新しい総合計画策定にあたり、全 15 市町村で開催された「未来共創セッション」では、一般公募で集まった県民がグループワークを通じて議論し、特に若い世代からも多くの前向きな意見がありました（参照 3）。

これからの富山県に期待することとしては、豊かな自然環境を保ちつつ、製造業などで培われた最新テクノロジーが県土の 7 割を占める中山間地域でも活用され、多くのエリアが元気になっていること。そして若い世代が富山に住みたい、働きたいと思ってくれている。「ガストロノミーの聖地」として関係人口もどんどん創出されている。また、謙虚さを保ちつつも、よりイノベティブな県民性が現れることや、呉東・呉西に関わらずオール富山での取組が成果を出していることにも期待しています。私自身はいずれ東京に戻るものの、富山の関係人口の一人として、離れても応援し続け、貢献したいと思っています。

農水省のビジョン・ステートメント（参照 4）に、「未来のこどもたちに継承していく」という一文があるように、常に「未来の世代にとっても良い形になっているか」を考えながら仕事を進めたい。富山県の総合計画も同様の視点で策定されており、広くご理解いただければと思います。

機運はますます高まっている。

※参照 1

第 4 回富山県人材確保・活躍推進本部会議

（令和 7 年 8 月 29 日）

藻谷浩介氏講演資料

<https://www.pref.toyama.jp/documents/49634/kouenshiryo.pdf>

※参照 2

「みんなで目指す『とやま 2035』10 年後の将来像」

（第 3 回富山県総合計画審議会（令和 7 年 9 月 4 日） 資料 2 14 ページ）

<https://www.pref.toyama.jp/documents/49530/shiryo02.pdf>

※参照 3

富山県未来共創セッション（各市町村でのグラフィックレコーディングあり）

<https://www.pref.toyama.jp/101731/kensei/kenseiunei/keikaku/kj00002168/index.html>

※参照 4

農林水産省ビジョン・ステートメント

<https://www.maff.go.jp/j/org/vs/index.html>